

平成26年度 福利厚生部事業報告

1 活動方針

- (1) 会員意識を高め、教職員の健康づくりと環境整備に努める。
- (2) 福利厚生諸機関との連携を図り、関連事業を推進する。
- (3) 各年代層を通じて参加しやすい親和活動を展開する。

2 事業内容

月日	事業名	事業内容
5	2 第1回福利厚生部会	・事業計画、予算配分 ・各種事業の運営計画について
	8 教育事情視察研修参加者募集	・各校へ申し込み用紙の送付
	15 福利厚生研究会（第1回総会）	・活動方針、事業計画、役員選出等
6	12 福利厚生研究会（第2回総会）	・夏季研修会、中央ボウリング大会等
	14 支部ボウリング大会	・団体戦（ブロック+本部=6人×4+6人=30人） ・個人戦 参加賞、景品、飲物代 ・中央（県）大会参加者の決定
7	上 教育事情視察研修打合会	・結団式
	教育事情視察研修派遣（台湾） 22日（火）～26日（土）	・参加者への補助（11万円のうち） 60,000円（募集人員1名 参加者0名）
8	19 福利厚生夏季研修会	・部長、副部長参加（旅費は本部負担）
	21 愛教研八幡浜支部懇親会 （「愛教研を語る会」懇親会）	・懇親会（会費制）の実施により、会員の親和を深める（参加者93名）
	23 中央（県）ボウリング大会	・男女各3名、計6名 ・旅費及び日当は本部負担
12	2 福利厚生研究会（第3回総会）	・活動の反省
1	10 イチゴ狩り	・会員の親睦と家族との団欒 ・入園料の補助（参加者126名）
4月～3月	事務関係	・印刷通信費等

3 今年度の反省と来年度への志向

- 「イチゴ狩り」は、大変好評で今後も継続したい。ボウリング大会のチーム数を減らしたり、教育事情視察を1名に減らしたりしたこと（希望者がいない場合は無理に参加者を募らない）で、イチゴ狩りの予算を十分に確保でき、より多くの参加受け入れが可能となった。
- 中央ボウリング大会が継続する限り、参加選手を募るため支部ボウリング大会を開催する。
- 「愛教研を語る会懇親会」での空調設備の不備は、会場を変えない限り対応できない。